

資料番号

3

令和4年9月27日

課名 商工労働局

コロナ機動的経済支援プロジェクト・チーム

担当者 担当課長 三牧

内線 3460

広島県経済の動向

令和4年9月27日

商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	県内小売業等の動向	5
1	百貨店・スーパー	
2	飲食	
3	観光	
IV	中小企業の動向	7
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
V	企業倒産状況	9
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
VI	最近の雇用失業情勢	10
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	6月	7月	8月
基調判断	景気は、持ち直しの動きがみられる	景気は、緩やかに持ち直している	
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	持ち直しの動きがみられる	持ち直している	
個人消費	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	
住宅建設	底堅い動きとなっている		
企業収益	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している		

(2) 先行き

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和4年8月25日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	5月	6月	7月
基調判断	下押し圧力は残るものの、緩やかに持ち直している		緩やかに持ち直している
輸出	供給制約の影響から、持ち直しが一服している		供給制約の影響が和らぐもとの、持ち直している
生産	足もと供給制約の影響がみられているものの、全体としては持ち直している		供給制約の影響が和らぐもとの、持ち直している
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	一部に改善の動きがみられるものの、全体としてはなお弱い動きが続いている		一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに改善している
個人消費	下押し圧力は残るものの、持ち直しつつある		持ち直しつつある
住宅投資	横ばい圏内で推移している		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年8月3日公表）】
9月については公表無し。

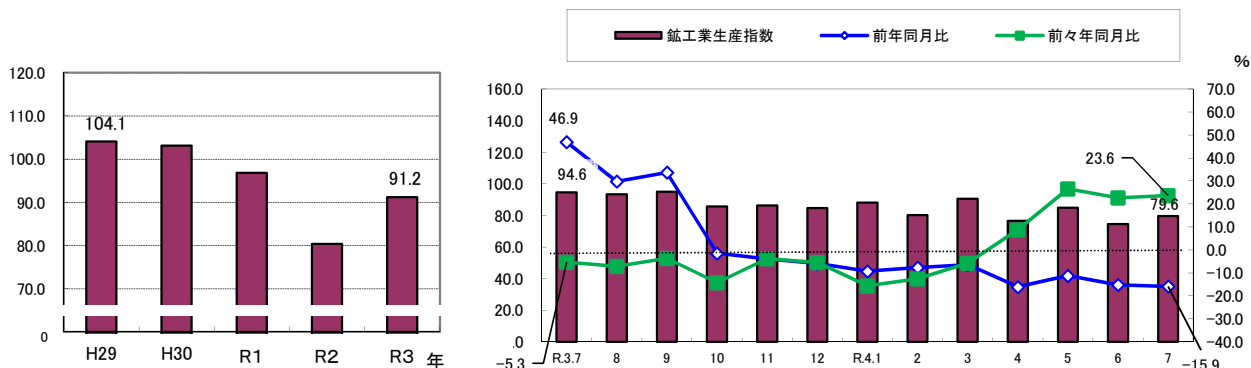
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和4年7月)

7月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は79.6で, 前年同月比で15.9%減少, 前々年同月比23.6%増加となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

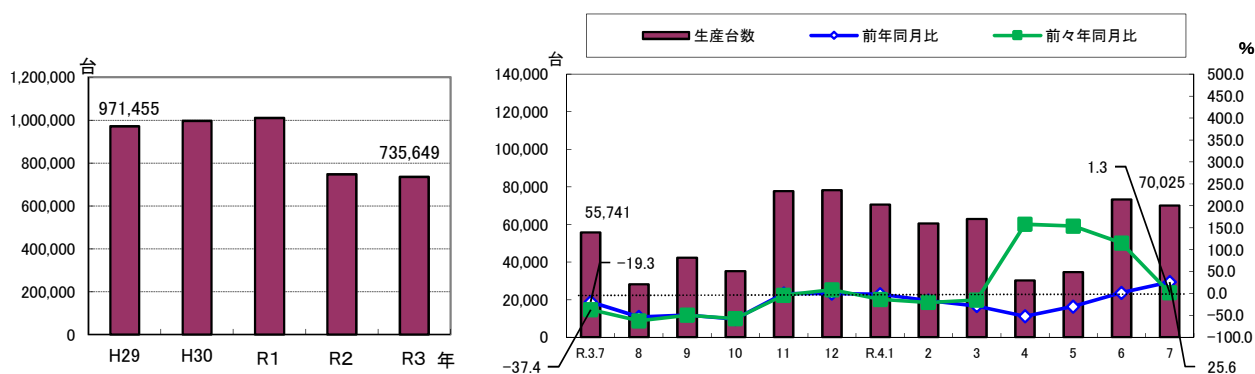


2 自動車(令和4年7月)

7月の国内生産台数は70,025台で, 前年同月比で25.6%増加, 前々年同月比1.3%増加となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

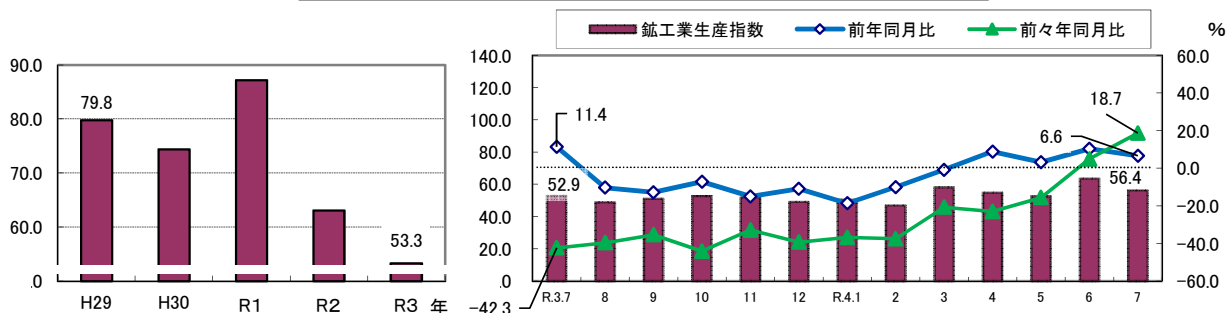


3 造船(令和4年7月)

7月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は56.4で, 前年同月比で6.6%増加, 前々年同月比18.7%増加となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

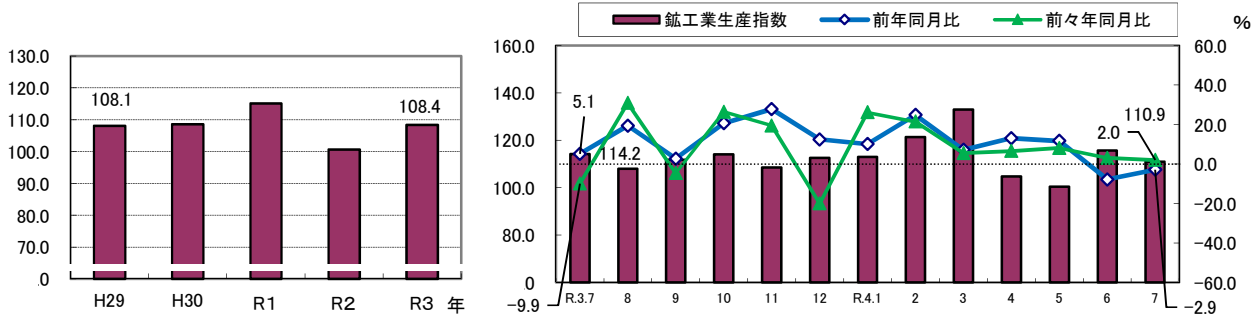


4 一般機械(令和4年7月)

7月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は110.9で, 前年同月比で2.9%減少, 前々年同月比2.0%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

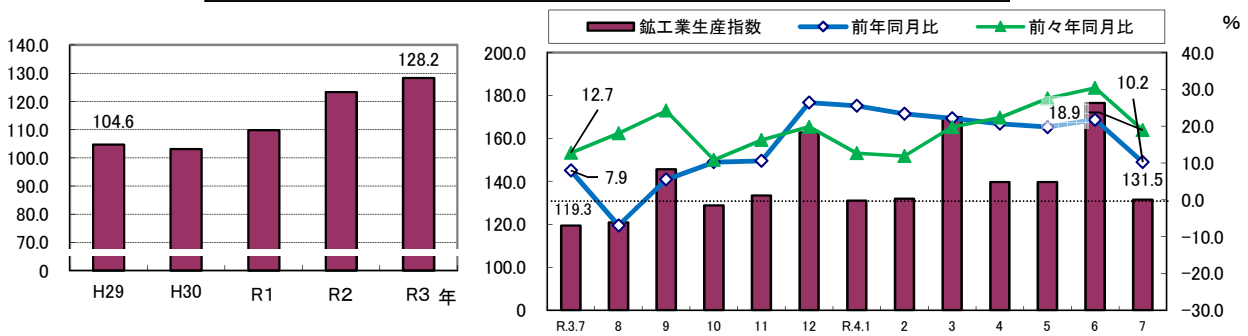


5 電気機械(令和4年7月)

7月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は131.5で, 前年同月比で10.2%増加, 前々年同月比18.9%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



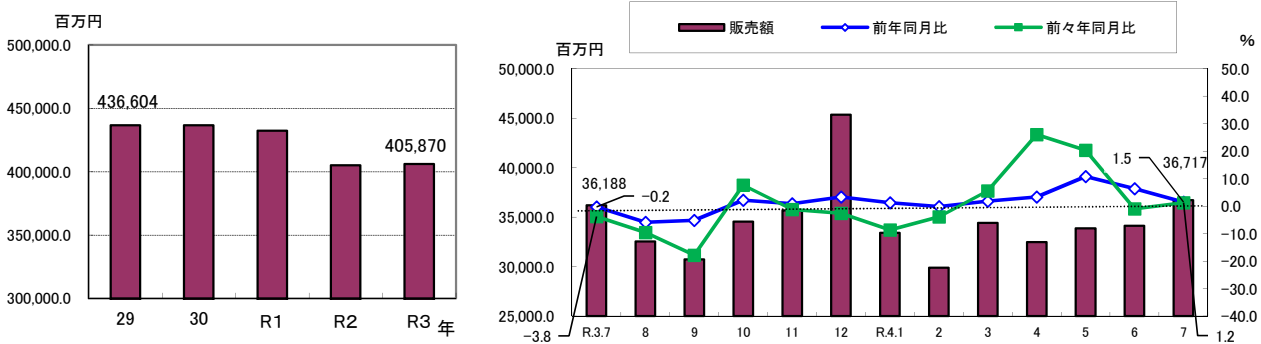
Ⅲ 県内小売業等の動向

1 百貨店・スーパー(令和4年7月)

広島県の7月の販売額は、36,717百万円(速報値)で全店舗前年同月比で1.5%増加、前々年同月比1.2%増加となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向(広島県)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【中国経済産業局】



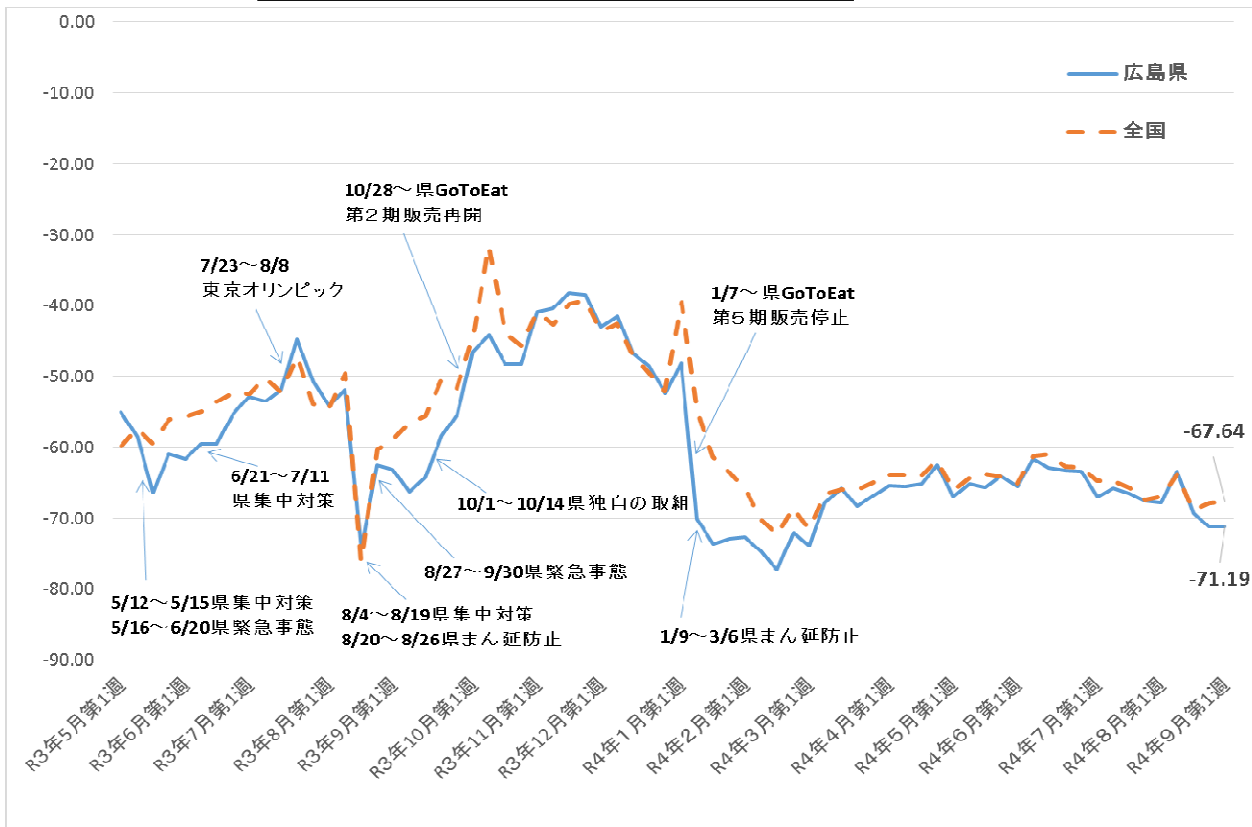
2 飲食(令和4年9月)

広島県の9月第1週の大手飲食店情報サイト閲覧数の令和元年同週比は71.19%減少となっている。

〔 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局と内閣府地方創生推進室 V-RESAS (Retty株式会社 Food Data Platformより提供) 〕

飲食店情報の閲覧数(広島県)(平成31年・令和元年同週比)

(データ更新日: 令和4年9月12日)



3 観光

(1) 宿泊客数(令和4年6月)

直近の数値である、令和4年6月の宿泊客数は、60.6万人で、前年同月と比べ30.8万人泊増(+103%)、令和元年同月と比べ26.9万人泊減(△31%)となっている。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

(単位:万人泊)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-6月計
広島県	R4年宿泊者数	51.9	41.0	64.1	70.5	73.9	60.6	発表前						362.0
	R3年宿泊者数	30.8	36.7	51.1	43.4	37.6	29.8	49.7	48.5	35.1	63.7	76.8	80.7	229.3
	R3年比	169%	112%	125%	162%	197%	203%	—	—	—	—	—	—	158%
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	558.4
	R元年比	70%	53%	63%	65%	68%	69%	—	—	—	—	—	—	65%
全国	R4年宿泊者数	2,844	2,328	3,346	3,363	3,674	3,447	発表前						19,001
	R3年比	163%	131%	123%	151%	177%	173%	—	—	—	—	—	—	152%

※R4年は第2次速報値で、R元年及びR3年の宿泊客数は、確定値を反映。

R4年の数値は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

(2) 県内主要観光施設の観光客数(令和4年7月)

5～7月の県内主要観光施設の観光客数は、外出機運の高まりや「やっぱ広島じゃ割」の再開などにより、前年同月と比べるとそれぞれ大きく増加しているが、令和元年同月の水準と比較すると、依然として減となっている。

【各観光施設からの聞取調査】

(単位:人)

観光施設	R元年			R3年			R4年		
	5月	6月	7月	5月	6月	7月	5月	6月	7月
広島平和記念資料館	241,864	150,107	130,919	15,337	6,615	39,644	100,451	73,041	59,681
	R元年比	—	—	6%	4%	30%	42%	49%	46%
	R3年比	—	—	—	—	—	655%	1104%	151%
宮島来島者数	538,903	301,989	292,467	113,825	71,282	143,854	280,006	175,297	181,961
	R元年比	—	—	—	21%	24%	49%	52%	62%
	R3年比	—	—	—	—	—	246%	246%	126%
大和ミュージアム	114,423	62,797	72,655	17,085	3,712	27,472	55,854	32,597	39,760
	R元年比	—	—	—	15%	6%	49%	52%	55%
	R3年比	—	—	—	—	—	327%	878%	145%
道の駅たけはら	17,514	12,987	13,975	9,684	7,667	10,872	13,585	11,269	11,464
	R元年比	—	—	—	55%	59%	78%	78%	82%
	R3年比	—	—	—	—	—	140%	147%	105%
神楽門前湯治村(定期公演)	3,810	2,707	2,099	1,382	150	1,132	2,482	1,728	1,675
	R元年比	—	—	—	36%	6%	65%	64%	80%
	R3年比	—	—	—	—	—	180%	1152%	148%
千光寺ロープウェイ	58,650	30,611	35,979	13,133	3,301	19,018	51,565	23,007	28,606
	R元年比	—	—	—	22%	11%	88%	75%	80%
	R3年比	—	—	—	—	—	393%	697%	150%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	1,725	1,154	912	344	213	659	1,722	887	970
	R元年比	—	—	—	20%	18%	100%	77%	106%
	R3年比	—	—	—	—	—	501%	416%	147%
国営備北丘陵公園(千人)	77	22	28	28	4	22	56	17	26
	R元年比	—	—	—	36%	20%	72%	79%	92%
	R3年比	—	—	—	—	—	198%	390%	117%

IV 中小企業の動向(令和4年8月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年8月15日時点）】

1 概況

原材料等の価格高騰，物流停滞による部材等の調達難，慢性的な人手不足，新型コロナウイルス感染再拡大など様々なマイナス要因が重なり，依然として見通しの立たない苦しい状況が続いているため，今後の動向を注視していく必要がある。

自動車関連業種では，国内自動車販売台数は前年同月比▲9.3%と14ヶ月連続での前年割れとなる一方で，マツダ車は35.6%増加となった。また，マツダ車の海外販売合計台数に関しては，前年同月比▲26.9%と，12ヶ月連続の前年比マイナスとなった。

木材業界では，全国住宅着工戸数は前年同月比▲5.4%，広島県内の着工戸数は前年同月比20.7%増加となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

2 景況感・景況感の変化

業種	7月の景況感	8月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや悪い	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	普通	やや悪い
金属製品	普通	普通

業種	7月の景況感	8月の景況感
一般機械器具	やや悪い	普通
電気機械器具	やや好況	普通
自動車部品	普通	やや悪い
造船	やや悪い	普通
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	7月	8月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	0	▲1
普通	4	5	1
やや悪い	14	14	0
悪い	1	1	0

3 前月(7月)から変化のあった主な業種

業種	7月の景況感	8月の景況感	変化の理由・状況
鉄鋼(鋳物)	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> 今年度に入って購入品が高騰し、顧客との値上げ交渉を実施しているが、どうしても売価決定にタイムロスが発生している。このような傾向が、暫く継続すると思われる。 <p>【鞆鉄鋼協同組合連合会】</p>
一般機械器具	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> 出荷時期の変更などが要因となり、売上は前月比▲30%、前年同月比▲5%となった。また、内外需とも高い水準を維持し、部品不足や金利上昇などのリスクが強まるなかでも需要は底堅い動きである。 <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
電気機械器具	やや好況	普通	<ul style="list-style-type: none"> 電子部品の需要の低下、一部電子部材の調達難や価格の高騰などが要因となり、売上は前月比▲30%、前年同月比▲35%となった。また、最大の出荷先である中国での需要失速により、部品の過剰在庫が発生している。 <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
造船	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> 県内2,500総トン以上の令和4年7月の船舶建造許可実績は1隻、24,000総トンであった。(前月2隻114,250総トン。前年同月3隻、323,800総トン。)なお、内訳は輸出船が1隻で貨物船であった。 <p>【中国地区造船協議会】</p>

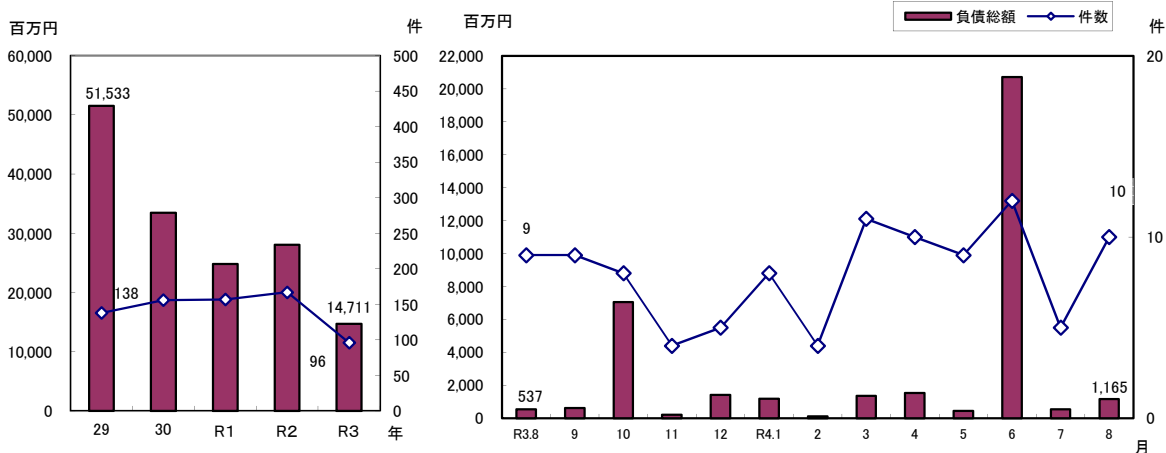
V 企業倒産状況(令和4年8月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が10件、総額11億6,500万円であった。
- ・前月比で件数は5件増加し、負債総額は6億2,700万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は1件増加し、負債総額は6億2,800万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月
件 数 (前年同月比)	12件 (7.7%減)	5件 (66.7%増)	10件 (11.1%増)
負債総額 (前年同月比)	20,710百万円 (2117.3%増)	538百万円 (56.6%減)	1,165百万円 (116.9%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が3件、サービス業、その他が各2件、製造業、建設業、運輸・通信業が各1件となった。

負債総額では、卸・小売・飲食業、サービス業、製造業、建設業、その他、運輸・通信業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が8件、既往のシワ寄せが2件であった。

4 今後の見通し

令和4年8月度の倒産件数は10件と前年同月比2ヵ月連続の増加となったが、令和2年5月以降28ヵ月連続で20件以下の低水準が続いており、新型コロナウイルス感染拡大後に打ち出された各種支援策の効果は継続して倒産は抑制された状態にある。ただ、新型コロナウイルスを要因とした倒産は8月度10件中5件発生し、これまでの累計は86件（負債総額1,000万円未満を除く）となり、時間の経過と共にコロナ禍で深刻な打撃を受けた中小零細規模の企業の息切れが顕在化しており、倒産に占める新型コロナウイルス関連倒産の割合は高まりつつある。

広島県内でも新型コロナウイルスの新規感染者数は7月中旬以降急増し、8月以降も高止まりするなか、社会経済活動と感染対策の両立を図っているが、感染拡大し始めた令和2年から影響を諸に受けている飲食や観光関連業界の業績は感染状況に左右されやすい厳しい営業環境が続いている。また、幅広い業界に於いても各種資材の調達難や原材料・資材価格が上昇傾向にあることに加えて、県内の最低賃金に於いても令和4年10月から3.45%アップの930円となるなど多くの企業にとって経費負担が増している。

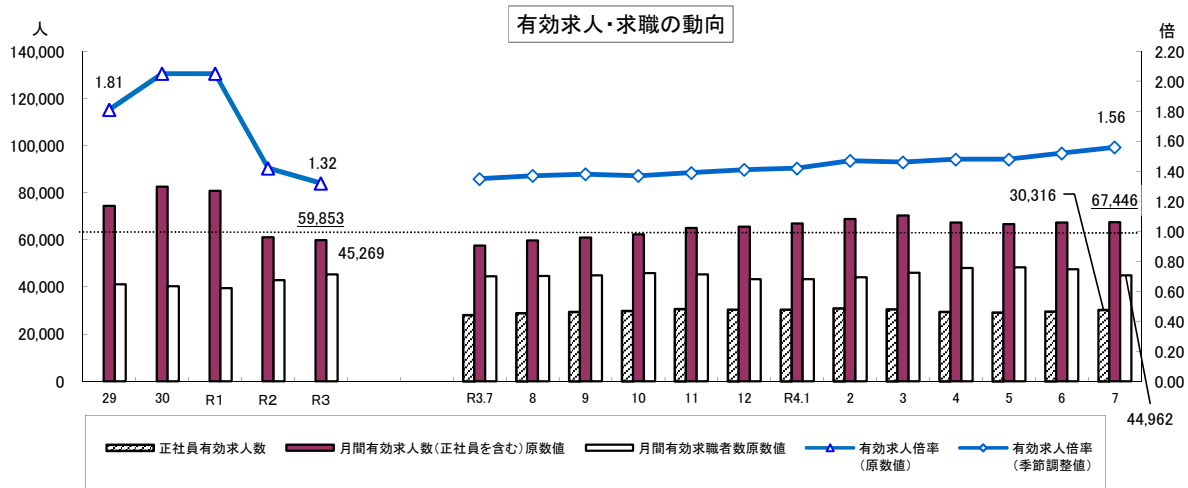
令和4年8月1日～9日に実施したアンケート（第23回「新型コロナウイルスに関するアンケート」調査）で半数以上の企業がコロナ前の売上水準には戻っていないと回答しており、長引くコロナ禍で人の流れや商流も変化し、売上を戻すことは難しいことが窺える。このようななかで、前述の通りコストアップ要因は散見されるが、価格転嫁が容易ではない中小零細規模の企業では資金繰りが逼迫する可能性が高まっており、体力の乏しい企業中心に引き続き注視する必要がある。

VI 最近の雇用失業情勢(令和4年7月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.48倍 (±0ポイント)	1.52倍 (+0.04ポイント)	1.56倍 (+0.04ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.05倍 (+0.03ポイント)	1.09倍 (+0.04ポイント)	1.15倍 (+0.08ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

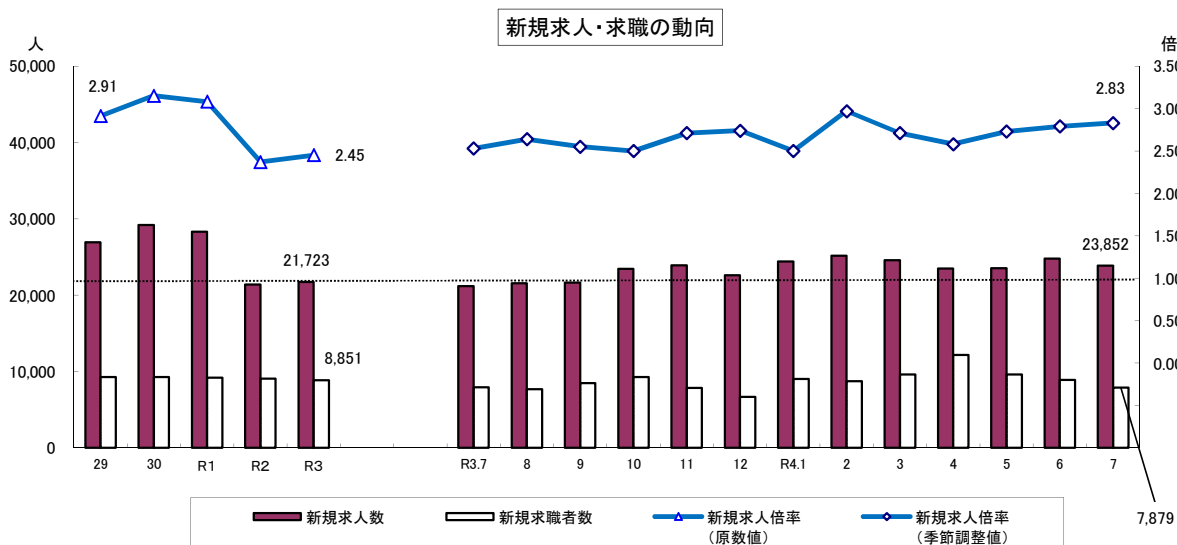
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.73倍 (+0.15ポイント)	2.79倍 (+0.06ポイント)	2.83倍 (+0.04ポイント)

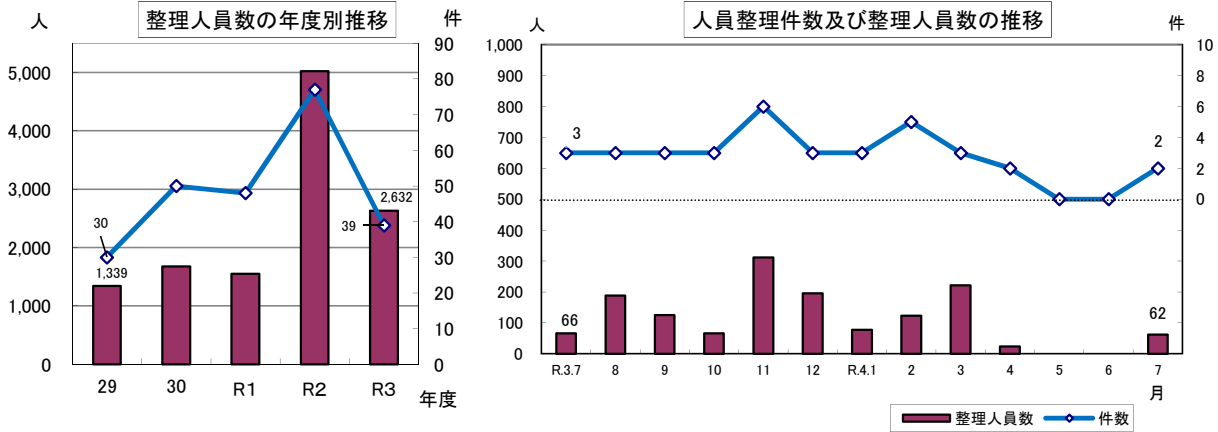
【広島労働局】



(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月
件数 (前年同月比)	0件 (▲ 2件)	0件 (▲ 3件)	2件 (▲ 1件)
整理人員 (前年同月比)	0人 (▲ 657人)	0人 (▲ 509人)	62人 (▲ 4人)

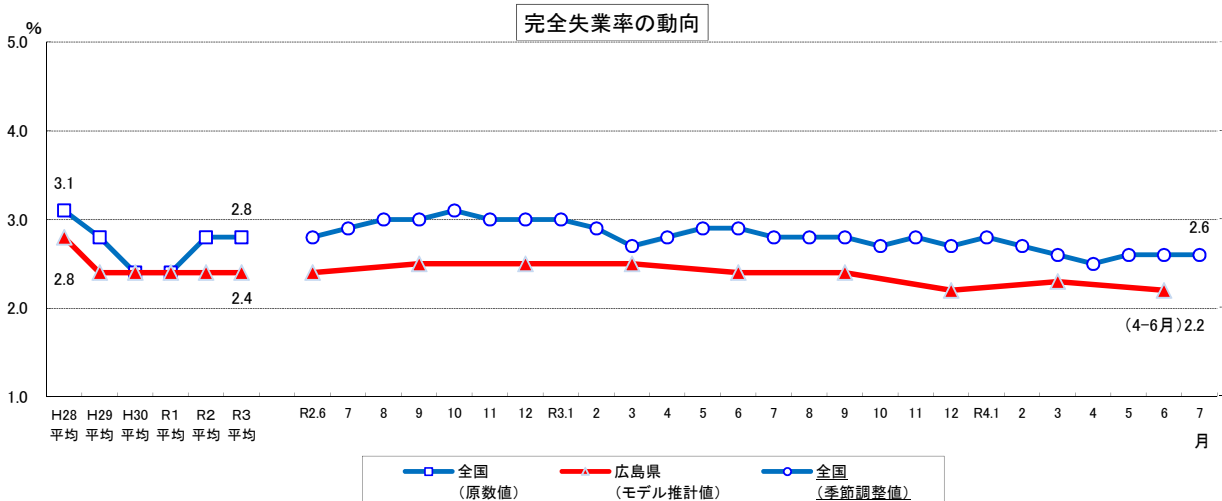


4 完全失業率の状況

区 分	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月
全国完全失業者数 (前年同月比)	191万人 (▲22万人)	186万人 (▲21万人)	176万人 (▲17万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.6% (+0.1ポイント)	2.6% (±0ポイント)	2.6% (±0ポイント)

区 分	令和3年	令和4年	
	10~12月平均	1~3月平均	4~6月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.2% (▲0.3ポイント)	2.3% (▲0.2ポイント)	2.2% (▲0.2ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。